

令和4年度後期 東予東中学校学校評価結果と改善策

西条市立東予東中学校

【学校生活】

「楽しく学校生活を送ることができている」の項目では、後期は肯定的な意見が生徒94%、保護者は91%となっており（前期はともに93%）、1年を通してほとんどの生徒が楽しく学校生活を過ごすことができている。しかし、「いじめやいたずらでいやな思いをしていない」の項目では、いやな思いをしていると回答する生徒が5%、（前期6%）、保護者7%（前期8%）となっており、まだいやな思いをしている生徒がいることが分かる。現在も教員が休み時間や昼休み等、廊下等で生徒と会話を交わす中で生徒を見守っており、嫌な思いをさせる言動を見掛けたらその場で注意したり、生徒の様子の変化を早めに察知し、相談活動をしたりしている。しかし、これでも十分ではないことから、全教職員で生徒間にトラブルがあることを前提に生徒の様子を見守ることや、相談活動の充実を図り、早期発見、早期解決に努めたい。

学習に関して、教員のアンケートで「教材を工夫し、生徒に分かりやすい授業の展開を行っている」については前期に引き続き肯定的回答が100%となっている。電子黒板やタブレット等のICT機器の活用方法について十分工夫がなされてきており、学力の定着に役立っていると考えられる。今後も、生徒にとって分かりやすい授業を心掛け、学習の内容が定着していくよう、今後も研究を進めていきたい。

「分からないところを先生や友達に相談している」では、後期も89%（前期88%）の生徒が分からない問題について解決を図ろうとしている。分からない問題をそのままにせず、解決しようとする姿勢は、授業で取り入れている「学びあい学習」の成果であると考えられる。また、定期テスト前の学習支援タイムへの参加者も多い。今後も、授業に「学びあい学習」を取り入れ、互いに学び合うような授業を行っていきたい。

「学校は落ち着いた雰囲気です」では、生徒の肯定的な意見は86%（前期73%）で13%アップしている。これは、1年生が中学校での学習に慣れたことや、3年生が進学を意識し、これまで以上に授業に集中していることが考えられる。また、これまでと同様に、授業担任が早く教室へ行き、授業の2分前着席、黙想で落ち着いた状態で授業を開始できていることがいい影響を与えている。

後期も86%の保護者（前期83%）の方が「ホームページや学校だよりをよく見ている」ということだった。ホームページはその日の行事や授業の様子、部活動への取組、給食のメニュー等、毎日更新し、情報を発信している。今後もホームページや学校だよりを充実させられるようにしていきたい。

「部活動は日々充実し、自分のためになっている」の問いに、実感していると答えた生徒、保護者ともに86%（前期は生徒88%、保護者90%）となっていた。部活動に目標を持って取り組ませることや、言葉遣いや礼儀を含む活動のマナーを学ばせることで、充実した活動にしていくことができると考えられる。この先、部活動の地域移行も進んでいくが、これまで通り、教員が学校生活の延長で部活指導ができるメリットを生かし、生徒の成長のために十分な活動ができるようにしていきたい。

【家庭生活】

後期も87%（前期88%）の保護者が、「生徒たちが地域でよく挨拶をしている」と感じており、生徒たちも地域の方に挨拶をしているようである。（生徒前期94%、後期95%）。教員も生徒がよく挨拶ができていると感じている（前期後期とも100%）ので、引き続き挨拶ができる、活気ある学校を目指していきたい。

「家庭で学校の様子や将来の進路、生き方について話をしている」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒が後期は82%（前期79%）おり、保護者も87%（前期85%）と若干アップしている。後期は3年生が進路決定の時期にあることや、2年生の職場体験学習、1年生が総合的な学習の時間で職業について学んでいることがアップにつながっていると考えられる。今後もキャリア教育を充実させていきたい。

「家庭学習の1日平均時間」は後期、2時間以上が25%、1時間以上2時間未満は42%、1時間未満は28%（前期は2時間以上が21%、1時間以上2時間未満は47%、1時間未満は26%）であり、1時間以上2時間未満に位置していた生徒が2時間以上学習する方に移動した形となった。学習時間が増えた生徒は受験を控えた3年生だと考えられるが、1時間未満の生徒に大きな変化がないのが課題である。学力向上にはやはり家庭での学習習慣の定着が重要であるため、教師側も宿題を精選し、生徒が家庭学習を習慣化できるように工夫していくことが必要である。

「交通ルール（登下校中の並進をしない・ヘルメット着用等のルール）を守れている」については、前期に引き続き生徒・保護者ともに100%近くが高い評価をしており、教職員の結果も100%だった。ただ、前方不注意での自転車事故が1件あったため、今後も一時停止や左右の確認など、基本的な交通マナーを今一度確認し、教員が事故が起こりやすい場所や、生徒が危険な横断をしているところなどを中心に見守ることで事故を未然に防げるよう、交通ルールや交通マナー向上を目指していきたい。

「家庭でゲーム機やスマホの利用についてのルールや約束ごとを決め、守っている」の項目は、後期も生徒89%に対して保護者64%となっており結果に大きな乖離が見られる（前期は生徒83%、保護者65%）。ゲーム機やスマホの利用のために睡眠不足になることで学校での授業に集中できなかったり、学習時間が削られたりしてしまう。また、友人間でのトラブルに発展する事例も起こっているため、気になる生徒にはルールを守り、トラブルを未然に防いでいくよう、今後も保護者と連絡を取り合いながら指導していきたい。

「朝食は毎日とっている」については、後期も5%程度が朝食をとっていないという現状である。生徒の起床時間が遅くて朝食を食べる時間がないのか、それとも家庭で朝食が準備されていないのかを確認し、早急に改善していく必要がある。生徒全員が確実に朝食を食べて登校できるように、朝食をとっていないと答えた生徒の家庭に協力をお願いし、早急に改善していきたい。

後期のアンケート結果からの改善点や反省点を生かし、生徒の問題を早期に把握できるよう、学活の時間や教育相談タイムなどを利用し、生徒との相談活動を行っていきたい。また、生徒が安心して学校生活を送ることができるように、生徒の傍につき、学校生活の様子を見守り、必要に応じて保護者や関係機関、地域と連携をとって指導していきたい。